

平成 22 年度ダイオキシン類調査結果

第 1 常時監視結果（環境調査）

- 1 目的 ダイオキシン類対策特別措置法の規定に基づき、本県域の環境のダイオキシン類による汚染の状況を監視する。
- 2 実施主体 宮崎県及び宮崎市
- 3 調査内容（括弧内の数字は宮崎市分の内数）
 (1) 調査項目 ポリ塩化ジベンゾフラン
 ポリ塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシン
 コプラナーポリ塩化ビフェニル
- (2) 調査地点 大 気： 6(1)地点（宮崎市、都城市、延岡市、日南市 外）
 水 質： 15(4)地点（大淀川、大瀬川、広渡川、日南海岸 外）
 底 質： 13(2)地点（大淀川、大瀬川、広渡川、日南海岸 外）
 地下水： 7(3)地点（宮崎市、日南市、小林市、日向市 外）
 土 壤： 9(5)地点（宮崎市、日南市、小林市、日向市 外）
- (3) 調査回数 大 気：年 4 回 / 地点
 その他：年 1 回 / 地点
- 4 調査結果（括弧内の数字は宮崎市分の内数）
 大気、水質、底質、地下水及び土壌について、前年度に引き続き、全ての地点で環境基準を達成していました。

表 平成 22 年度ダイオキシン類常時監視結果（総括表）

調査媒体	調査地点数	調査結果 (濃度範囲)	環境基準	単 位	備 考
大 気	6(1)	0.0085 ~ 0.022	0.6	pg-TEQ/m ³	・大気の濃度範囲は各調査地点における年間平均値を記載。
公 共 用 水 域	水質	河川 13(4)	1	pg-TEQ/L	
		海域 2			
		全体 15(4)			
底質	河川 11(2)	150	pg-TEQ/g		
	海域 2				
	全体 13(2)				
地下水	7(3)	0.019 ~ 0.061	1	pg-TEQ/L	
土 壤	9(5)	0.029 ~ 3.4	1,000	pg-TEQ/g	

注) 詳細については個表を参照のこと。